

令和6年度静岡県さくら写真コンクール入賞作品選評

「総評」

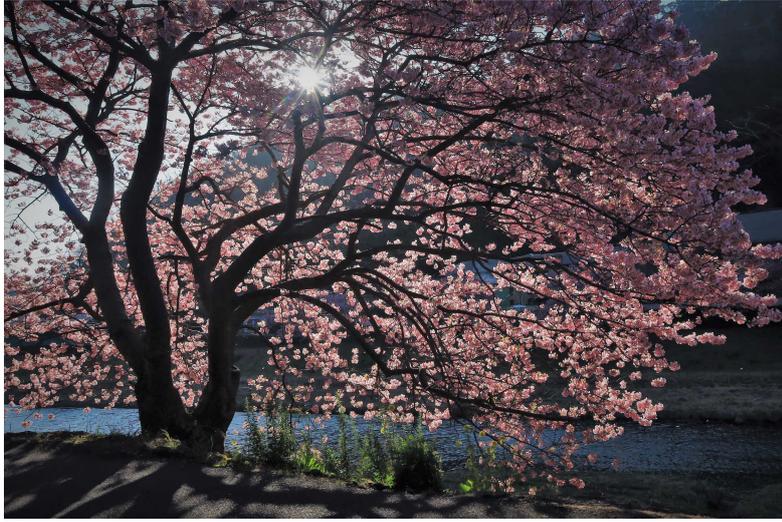
今年の応募作品は、

「桜の風景」部門	316点	(前年度 392点)
「富士山と桜」部門	187点	(前年度 221点)
合計	503点	(前年度 613点)
(うち、U-25賞対象)	(16点)	(前年度 46点)

去る5月30日に3名の審査員により審査が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症の5類移行により、通常の生活ができるようになり写真撮影も問題なくなりましたので応募作品の増加を期待していたところでしたが、前年度に比べ減少する結果になりました。この原因としては、私個人の私見で統計や専門家の分析によるものではなく、肌感覚です。正しいかどうかはわかりませんが、現在の写真を取り巻く環境は主に若者の間では、インターネット、SNSの広がりにより、従来の写真プリントを見る文化から、画像としてフェイスブック、インスタグラム、ツイッター(現X)などに投稿し、短期間で消費していく写真が流行してきており、また、過去から続くカメラ雑誌や、写真展などアマチュア写真家が長く楽しんできた分野が雑誌の廃刊や高齢化などにより、縮小してきていることが原因とも考えられます。年々桜の花の開花時期が早まったとか、天候不順などで撮影計画を立てにくいとかの原因も考えられますがはっきりした原因は分かりません。作品の内容につきましては、応募点数の減少はあったものの、上位入賞の作品は例年同様レベルの高い作品が多くありました。ただし、桜や富士山の撮影では、良い撮影ポイントが決まっており毎回同じ場所で撮影した作品が応募されてきますと競争激化となり入賞は難しくなりますので、視点を変えた今までにない独創性のある作品を応募されることを希望いたします。又、デジカメが主流になった今、プリントの色の調整で派手な色調にするあまり自然の色を壊している作品などが多く目立ちますのでご注意くださいと思います。

最優秀賞	
部門	部門共通
作品名	反射炉夜桜
撮影地	伊豆の国市 韮山反射炉
撮影者	高橋 浩 (伊豆の国市)
<選評> この作品は伊豆の国市の韮山反射炉にて夜間に撮影されたものです。道路を挟んだ場所から反射炉を正面にとらえ、ライトアップされた桜と反射炉が構成よく配置されています。前面の道路には車のヘッドライトとテールランプの光を長時間露出により美しく描いていて、静かな風景に動きも加えています。画面の構成力、撮影技術なども素晴らしく、秀逸な作品になっています。	

「桜の風景」部門



特 選

作品名	「桃色木陰」
撮影地	河津町笹原
撮影者	永井 真澄 (島田市)

<選評>

この作品は河津町の川沿いに咲く桜を逆光で撮影しています。山影をバックにしているため、桜の花が太陽光線により浮き上がっており色も大変美しく描写されています。桜の木が待ち望んでいた春がやっと来たことをよろこび勇んで精一杯花を咲かせているような力強さを感じさせてくれます。素晴らしい作品で作者の力量を感じさせてくれます。

	準特選	
	作品名	冷えた朝
	撮影地	御殿場市 東山湖
	撮影者	上野 祐司 (神奈川県 足柄下郡箱根町)
	<p><選評> 御殿場市の東山湖での撮影です。この場所は作者のホームグラウンドというべき場所なので、毎年ここでの作品が応募されています。冷え込んだ朝の湖面には朝もやが立ち、煌めく水面と、桜の花のバランスが素晴らしく、釣り人を効果的に配しています。とにかくとても美しい風景写真です。</p>	
	準特選	
	作品名	三重の塔と桜
	撮影地	浜松市 奥山公園
	撮影者	山名 輝明 (浜松市浜名区)
	<p><選評> 浜松市の奥山公園での撮影とことです。山の斜面一面に桜の花が満開状態で咲いており、山頂には三重の塔が立っております。一見京都辺りの風景かと思ってしまう風景ですが静岡県にあることは素晴らしいと思います。前面の桜の花もボリューム感たっぷりで安定感のある画面になっています。</p>	

「富士山と桜」部門

	特 選	
	作品名	湖畔にさく
	撮影地	御殿場市印野
	撮影者	飯田 龍治 (御殿場市)
<p><選評> 撮影場所は御殿場市印野と のことです。湖のほとりに咲く 数本の桜をポイントに湖面と 富士を力強く描写しています。 湖面には水鳥の波紋と桜や富 士が映り込んでおり、見てい て飽きない風景になっています。 撮影の技術も確実で品の良い 作品になっています。</p>		



準特選

作品名	心温まる帰り道
撮影地	御殿場市 ごとうばら さくらロード
撮影者	星本 かおり (御殿場市)

<選評>

御殿場市のごとうばらさくらロードでの撮影とのこと。夕暮れ時の市街地の道路でしょうか、さくらロードと説明されていますので、桜の木が道沿いに植えられているようです。前面に桜の満開の木を入れて、遠方には夕焼け空に富士山のシルエット、この作品には帰る道すがら心温かい幸せ感に浸りながらの気持ちが写されています。定番の桜や富士山の撮影ポイントでなく、日常の生活空間での発見は今までにない新鮮な作品となっていると思います。

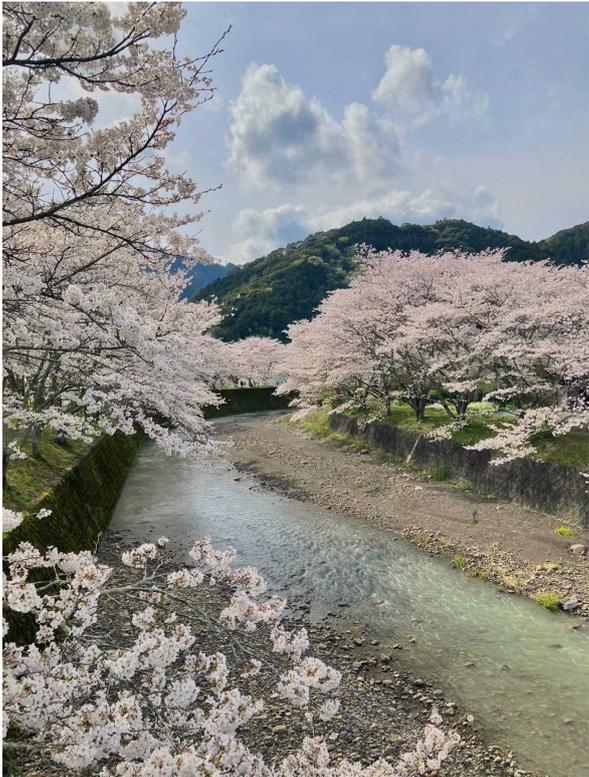


準特選

作品名	春景を映す
撮影地	富士市大淵
撮影者	宮崎 泰一 (富士市)

<選評>

富士市大淵での撮影とのこと。場所的に小川のほとりなのか、湿地帯の水辺なのかわかりませんが、水面に映った富士山と桜の花は克明に描写されており、大変に力強い風景となっています。作者は定番撮影ポイントから新しい撮影場所を探しておられるように思います。作者の力量は立派なもので新しい富士山の風景を期待いたします。

	U-25 賞	
	作品名	春
	撮影地	静岡市葵区大原
	撮影者	西馬場 奏 (静岡市葵区)
<p><選評></p> <p>この賞は、25歳以下の作者の作品を対象としたものです。この作品は静岡市葵区大原での撮影とのこと。川の両岸に咲く満開の桜と水の流れて構成されています。画面はシンプルながら奥行き感もあり、落ち着いた風景写真になっています。構図的にも安定しており、曇り空の柔らかな光線状態が品の良い作品にしたててくれています。</p>		

他に両部門から 10 点の入選作品が決定いたしました。

全体を通じて良い作品を何点も出されていた方が数人おられましたが、一人一賞の決まりから一点のみの入賞となっております。今回入賞を逃した方も次回の挑戦を期待いたします。次回の応募作品が増加することを期待いたします。

入 選 (「桜の風景」部門)



作品名 水鏡 (みずかがみ)

作品名 麗春 (れいしゅん)

撮影地 掛川市 掛川城

撮影地 御殿場市 東山湖

撮影者 廣木 一晴

撮影者 岩浅 利泰



作品名 春よ来い

作品名 じいじのお花見

撮影地 伊東市 大室山

撮影地 川根本町 徳山

撮影者 藤井 昭浩

撮影者 紅林 茂乃

入 選（「桜の風景」部門）



作品名	夕映え
撮影地	浜松市中央区元城町
撮影者	原田 能伸

入 選（「富士山と桜」部門）



作品名	河津桜の咲く丘
撮影地	富士宮市北山
撮影者	山本 寿子



作品名	春暁の桜
撮影地	富士宮市 田貫湖
撮影者	園田 千鶴

入 選 （「富士山と桜」部門）



作品名	早春の彩り
撮影地	富士宮市山本
撮影者	山本 裕

作品名	春が来た
撮影地	沼津市戸田
撮影者	鈴木 武幸



作品名	春暁
撮影地	掛川市東山 栗ヶ岳山頂
撮影者	浅井 貴章

コンクールの審査は、A4 及び四つ切写真での審査を行っております。

本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。